



いじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子どもたちにも起こりうる、最も身近で深刻な人権侵害です。私たち大人が毅然とした態度で問題に取り組み、子どもたちとの信頼関係を築くこと、そして「いじめ」に苦しむ心情を自分のこととして重く受け止めることが大切です。

冷やかす・からかい

仲間はずれ・無視

ネット上のいじめ

いじめとは？

ぶつかる・たたく

いやなことをさせられる

金品たかり

物を隠す・壊す

☆いじめのほとんどが、「からかい(いじり)悪口」など、ことばによるものです。

いじめについての学校の取り組み

- 1 「ゆたか小学校いじめ防止基本方針」の策定
→学校ホームページへ掲載、いじめ防止リーフレットの配布
- 2 校内いじめ防止委員会の設置（毎月定例実施、ケース会議）
委員：校長，教頭，教務，生徒指導，教育相談担当，養護教諭，特別支援コーディネーター，各学年代表(スクールカウンセラー，小中アシスト相談員，登校支援委員，関係機関)
- 3 アンケート・教育相談を実施し，子どもの悩みに寄り添う。
- 4 人権教室、道徳の授業等において人権尊重と人権感覚を磨く

保護者のみなさまへ（お願い）

- 1 子供にとって、家庭は一番の安心安全な居場所。子供の安心感と自信を育む場所です、温かい励ましをたくさん贈ってあげましょう。
- 2 日頃から子供と過ごす機会をつくり、子供の言動の変化や様子に気を配りましょう。
- 3 学校行事、PTA行事、地域行事等へ積極的に参加し、大人同士のネットワークの中で子供を見守りましょう。

いじめられている子どものサイン

- 最近、食欲がない。
- 以前と遊ぶ友だちや場所が違う。
- 頭痛や腹痛、吐き気を訴えることが多くなった。
- 学校のことや友だちのことを話したくない。
- 感情の起伏が激しい。
- 持ち物がよくなる、壊れる。
- 登校をいやがったり、登校時に不調を訴えたりする。
- 小遣い以上のお金を求めたり、家から勝手に金品を持ち出したりする。

いじめている子どものサイン

- 言葉や行動が乱暴になっている。
- 友だちへの応対が命令口調になっている。
- 与えた以上のお金を持っている。
- 買い与えていない物を持っている。

大人の勇気と愛情で子どもを守る

わが子が傍観者であったら

- ☆いじめを許さない強い意志を示しましょう。
- いじめをはやしたてたり、見て見ぬふりをしたりすることは、いじめと同じであることを伝えましょう。
- 今後どういう行動をとればいいのか、親子で考え、勇気をもって学校へも伝えましょう。子どもは経験から学び、成長します。

早期発見、早期対応
みんなの力でいじめゼロ

わが子がいじめられていたら

- ☆子どもをいじめから、全力で守りましょう。
- 事実を丁寧に聞き、つらい気持ちをまず受け止めましょう。
- 子どもの心と体を守ることを第一に考え、味方であることのメッセージを伝えましょう。
- 学校との連絡を密にし、家庭での様子などを連絡しましょう。

わが子がいじめていたら

- ☆全力でいじめをやめさせましょう。
- いじめは絶対に許されないことを伝えましょう。
- 学校との連絡を密にし、家庭での様子などを連絡しましょう。
- 親が真剣に謝る姿勢を見せましょう。
- 事実と向き合い、わが子がいじめを起こさないための必要な支援を行いましょう。
- 今まで以上に子どもとの関わりをもちましょう。